

2021 年 11 月 16 日

会 社 名 株式会社インフォネット
(コード：4 4 4 4 マザーズ)
住 所 東京都千代田区大手町 1-5-1
大手町ファーストスクエアウエストタワー 2F
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 日下部 拓也
問合せ先 担当者 平塚 友香
電話番号 03-5221-7591

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時：2021 年 11 月 16 日 11：00～11：30

開催方法：オンライン配信による説明会

開催場所：株式会社インフォネット東京本社（東京都千代田区大手町 1-5-1）
よりライブ配信

説明会資料：2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明資料

【添付資料】

1. 決算説明会において使用した資料（2022 年 3 月期第 2 四半期決算説明資料）



株式会社インフォネット

STOCKCODE:4444

2022年 3 月期 第 2 四半期決算説明資料



ONE STOP SERVICE
InfoNet Inc. All Rights Reserved.

1. 当社の事業と私たちの社会的使命 p.3
2. 2022年3月期 第2四半期 TOPICS p.9
3. 2022年3月期 第2四半期決算概況 p.12
4. SUMMARY p.25
5. 業績予想の修正について p.28

1. 当社の事業と 私たちの社会的使命

ONE STOP SERVICE

調査・分析からデザイン・システム開発、運用サポートまで一貫して行う
ワンストップサービスで
安定性の高いサービスの提供



SaaS型CMS市場

6年連続シェア No.1※

※出典：ITR「ITR Market View：ECサイト構築／CMS／SMS送信サービス／CLM／電子契約サービス市場2021」 SaaS型CMS市場：ベンダー別売上金額推移およびシェア（2016～2021年度予測）

主に中堅企業～大手企業・公共団体から
支持され、コーポレートサイトを中心に
制作実績**1,300**サイト以上。※2

（infoCMS導入実績**500**サイト以上。※2）

※2 当社調べ



RESEARCHING & ANALYZING

調査・分析



PLANNING & PRODUCING

企画・プロデュース



WEB DESIGN
SYSTEM DEVELOPMENT

WEBデザイン構築
システム開発



MEASURING & IMPROVING

効果測定・改善施策



OPERATION SUPPORT

運用サポート

プラスαの
成果創出へ

私たちの社会的使命

コーポレートサイトをプラットフォームとした

WEBマーケティング、DX戦略を総合的に支援し、

顧客が目指す成果を創出することが、私たちの社会的使命です。

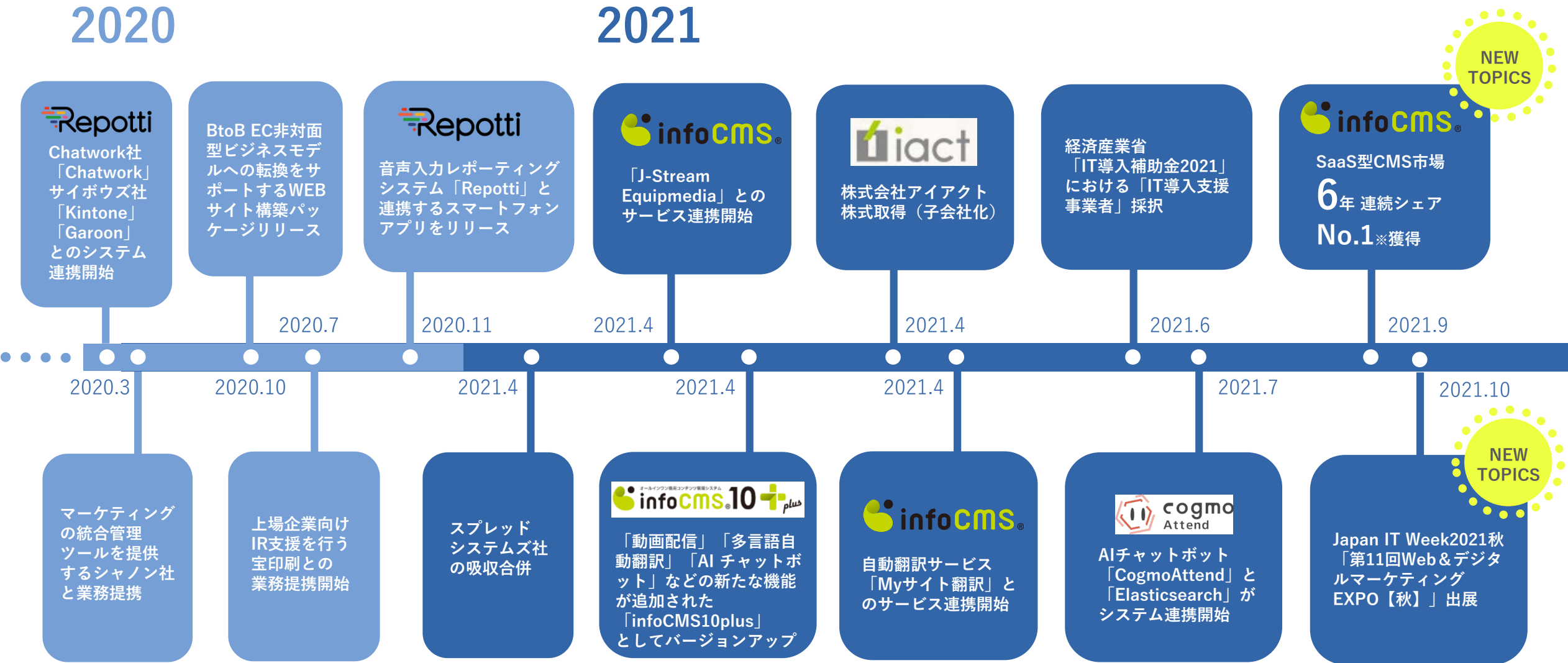
1. グループ概要

商 号	株式会社インフォネット（英語表記：infoNet inc.） <証券コード：4444>		
所 在 地	本 社	東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー2F	
	福井支社	福井県坂井市丸岡町ソフトパークふくい 7-1-21	
	佐賀支社	佐賀県佐賀市中の小路 1-14 佐賀新聞中央ビル4F	
	大阪支社	大阪府大阪市中央区南本町2-4-16本町デビスビル7F	
設立年月日	2002年10月15日	資 本 金	27,438万円
代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	日下部 拓也	従業員数	単体100名 連結142名（2021年9月末現在）
事業内容	WEBサイト構築 CMSサイト構築 システム開発 ホスティングサービス ASPサービス 広告デザイン・印刷 映像制作		

商 号	株式会社アイアクト <非上場>		
設立年月日	1999年6月18日	資 本 金	1,900万円
代表取締役社長	笠井 隆義		
事業内容	・ サイト制作・運用、CMS構築・運用 ・ WEB戦略立案&コンサルティング ・ WatsonやAIを活用したプロダクト開発 ・ AIチャットボットサービス、検索サービス ・ コンテンツマーケティング&プロモーション ・ データ&アナリティクス ・ AI導入支援		



1. WEBマーケティング総合支援に向けたソリューション拡大のあゆみ infoNet®



2. 2022年3月期 第2四半期 TOPICS

トピックス

1

infoCMS® SaaS型CMS市場において 6年連続シェアNo.1※を獲得しました。

当社の主力製品であるオールインワン商用コンテンツ管理システム「infoCMS」が、株式会社アイ・ティー・アールが発行する市場調査レポートにおいて、SaaS型CMS市場のベンダー別売上金額推移およびシェアで6年連続シェアNo.1※を獲得しました。



2

Japan IT Week秋2021 「Web & デジタルマーケティングEXPO【秋】 出展

2021年10月27日～29日に幕張メッセにて行われた、マーケティングオートメーション、AI(人工知能)、WEB マーケティング、アドテク・動画広告など、マーケティングに関するソリューションが一堂に出展する専門展「Web & デジタルマーケティングEXPO【秋】」に出展いたしました。

- ✓ 「infoCMS10plus」をはじめ、「Q & Ai」のデモンストレーションを実施
- ✓ ブース内に手指消毒液を設置するほか、スタッフの体温測定、体調管理を実施するなどの感染症対策を徹底して対応



3. 2022年3月期 第2四半期決算概況

当社の収益構造

受託開発構築によるフロー収益



+

サブスクリプション収益
(月額利用の積み上げ式収益)

顧客数の増加に伴い
月額利用収益も増加する



WEB/CMS 関連事業

売上高前期比(QtoQ)

(連結) **+320,889千円**

前期比 **186.2%**

(infoNet単体) **+40,066千円**

前期比 **110.8%**

AI 関連事業

売上高前期比(QtoQ)

(連結) **+73,666千円**

前期比 **1461.3%**

(infoNet単体) **-1,635千円**

前期比 **69.8%**

3. 2022年3月期 第2四半期決算概況

フロー収益

(受託開発)

売上高前期比(QtoQ)

(連結) +224,854千円

前期比 222.4%

(infoNet単体) +8,809千円

前期比 104.8%

ストック収益

(月額収益)

売上高前期比(QtoQ)

(連結) +169,702千円

前期比 187.5%

(infoNet単体) +29,622千円

前期比 115.3%

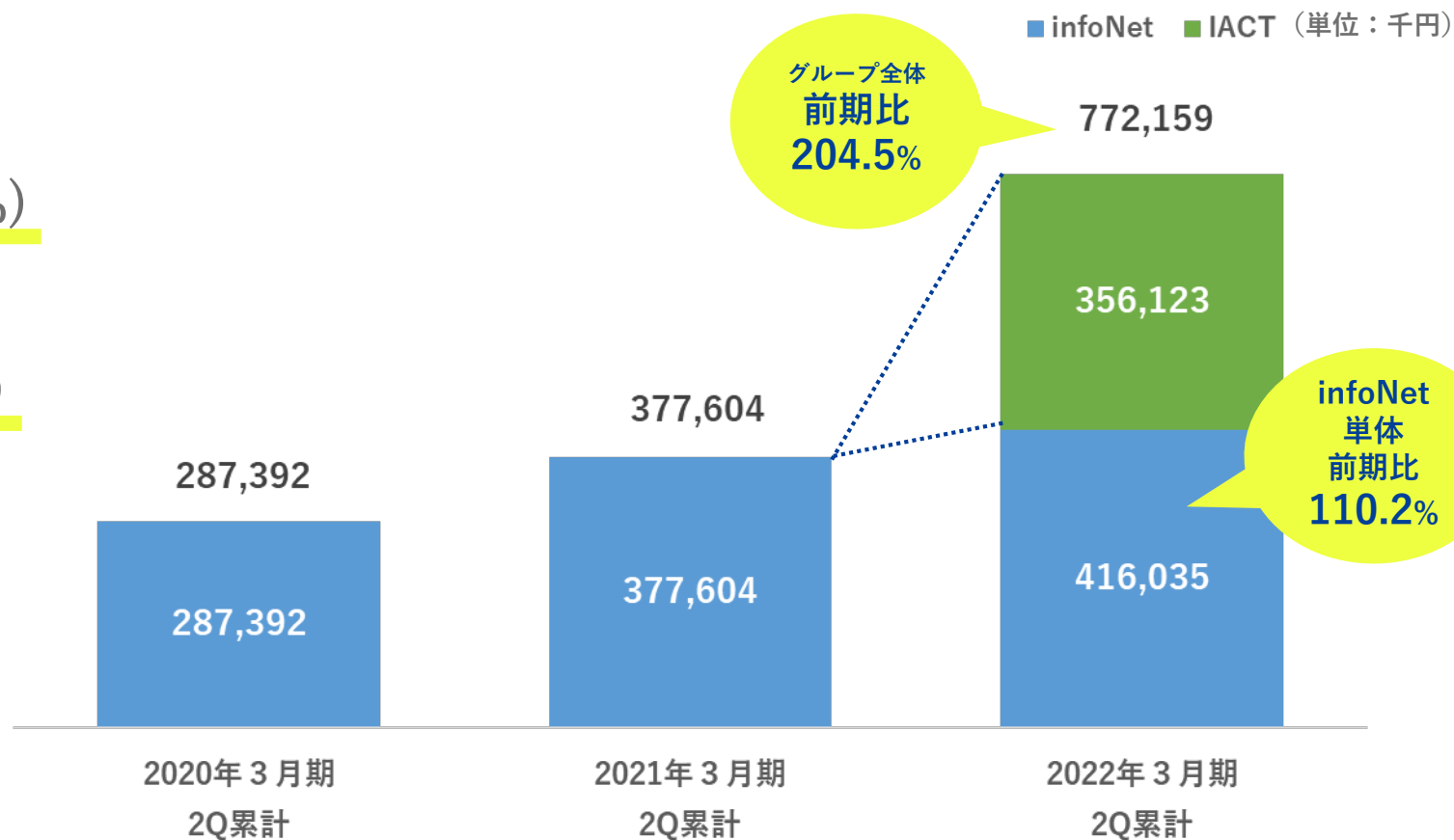
売上高実績 グループ内訳 (QtoQ)

グループ全体

+394,555千円の増加(前期比204.5%)

infoNet単体

+38,431千円の増加(前期比110.2%)



※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。

売上高実績 ストック/フロー内訳 (QtoQ)

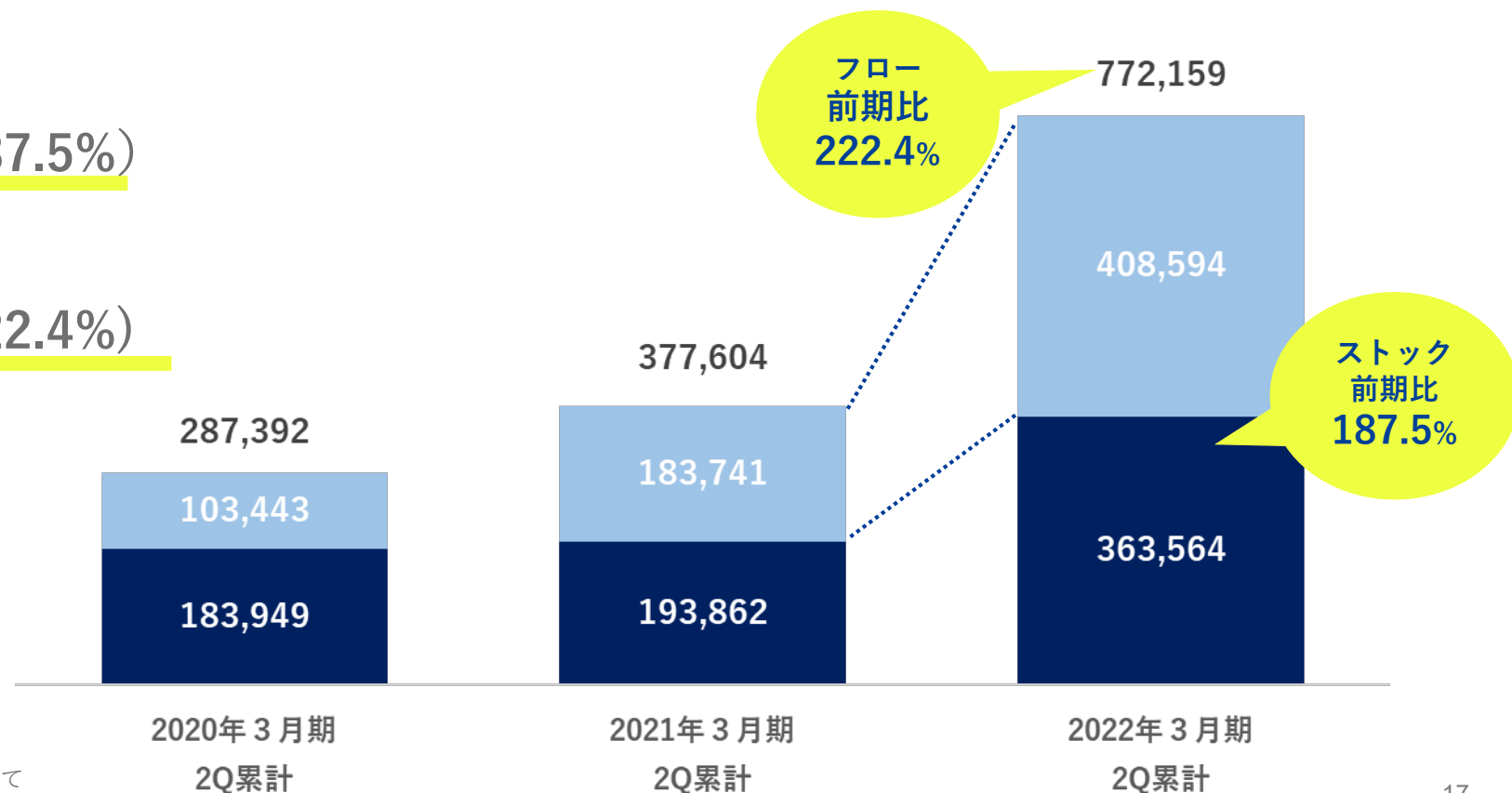
■ ストック (月額収益) ■ フロー (受託開発) (単位: 千円)

ストック (月額収益)

+169,702千円の増加 (前期比187.5%)

フロー (受託開発収益)

+224,853千円の増加 (前期比222.4%)



※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。

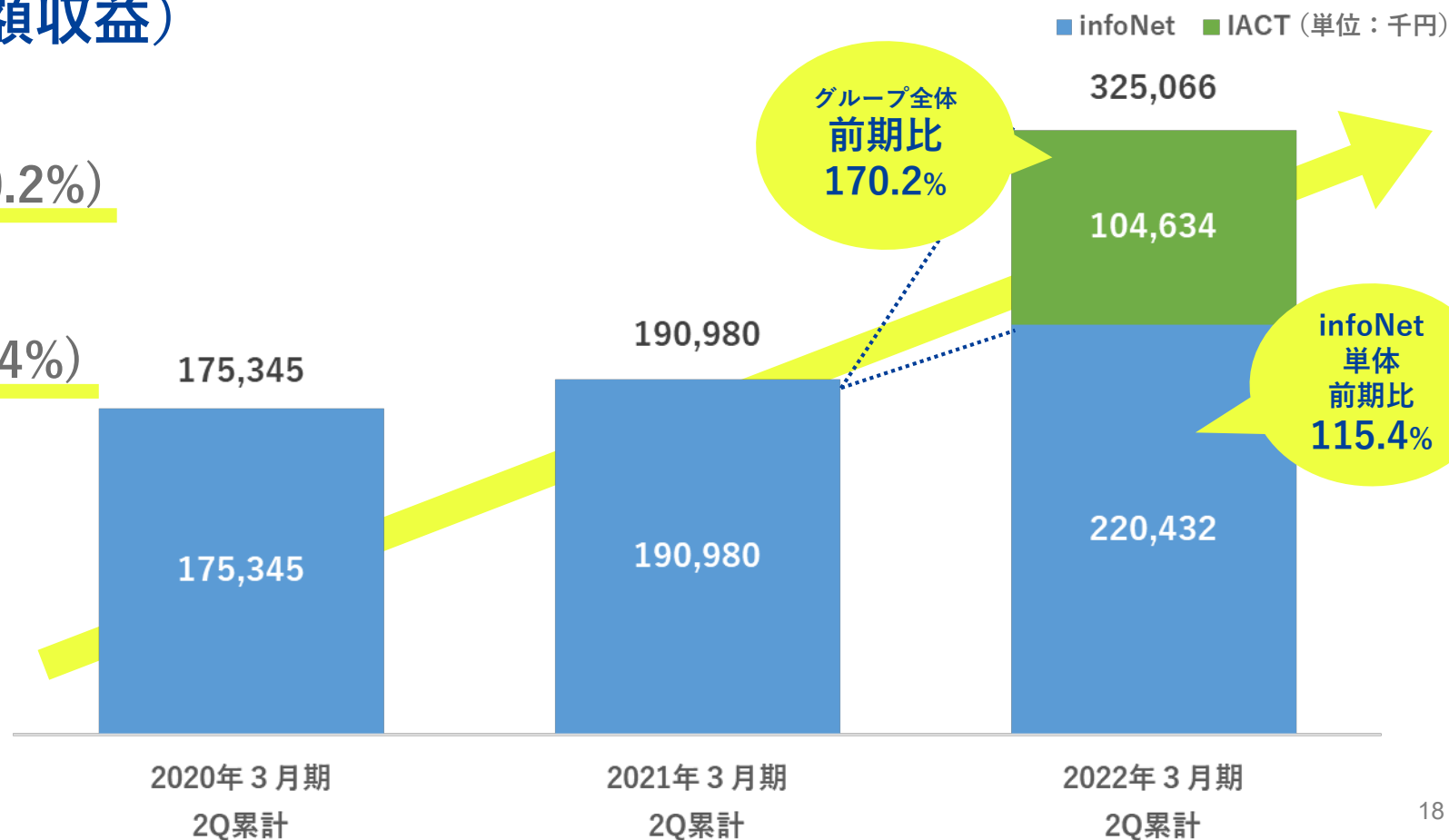
※ストック (月額収益) とフロー (受託開発) の合計に誤差が出ておりますが、グラフの各層の数値を千円未満切り捨てとしているためです。

ストック収益実績 WEB/CMS (QtoQ)

(月額収益)

グループ全体
+134,086千円の増加(前期比170.2%)

infoNet単体
+29,452千円の増加(前期比115.4%)

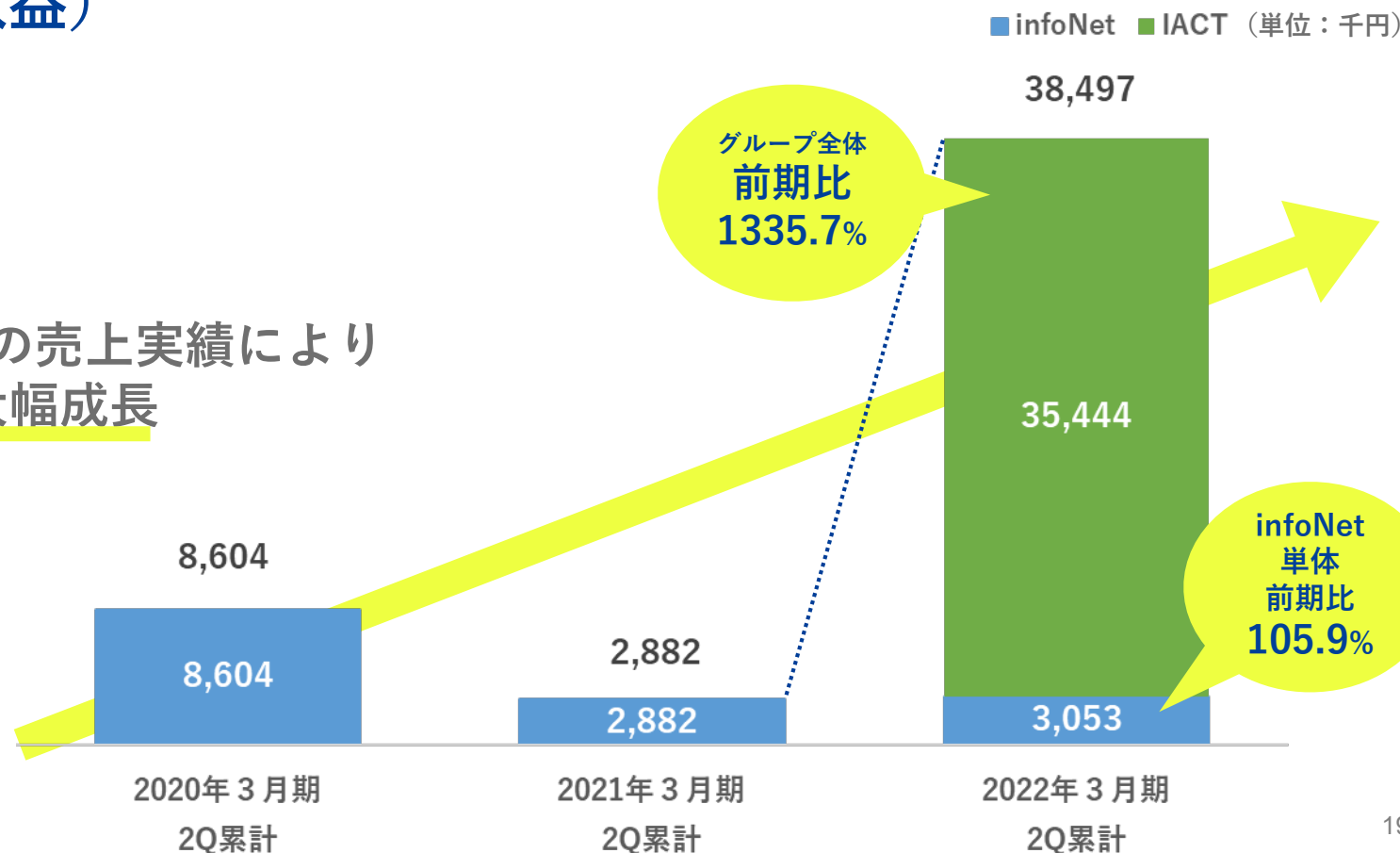


※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。

ストック収益実績 AI (QtoQ) (月額収益)

infoNet単体では前期に対し
+170千円の増加（前期比105.9%）

アイアクトの強みである
AIプロダクト（Cogmoシリーズ）の売上実績により
グループ全体では+35,615千円の大幅成長



※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。

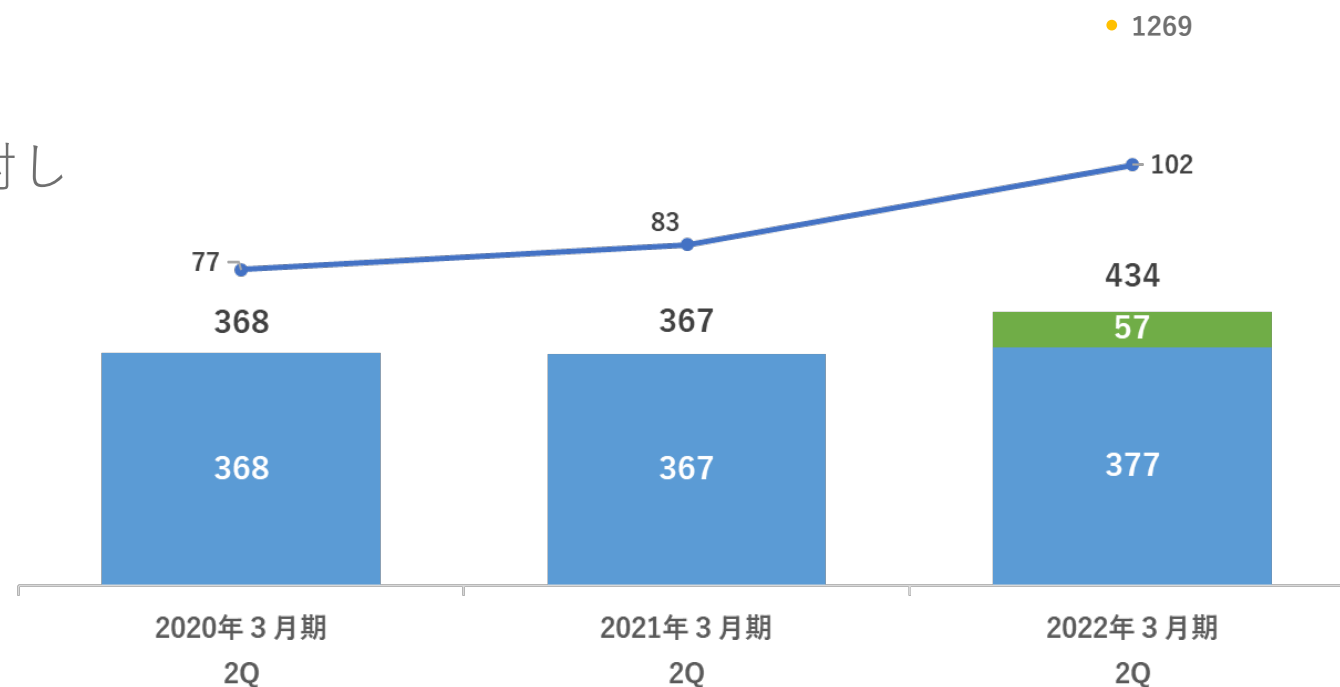
ストック収益請求社数推移 (QtoQ)

(月額収益)

infoNet単体では前期に対し
+10社の増加、月平均単価前期比123.4%

infoNetの月額収益は主にinfoCMSの
月額利用料および保守料金であるのに対し
アイアクトは主にWEB運用代行等に
かかる月額収益が占める。

■ infoNet (単位：社)
■ IACT (単位：社)
● infoNet 月平均単価(保守系) (単位：千円)
● IACT 月平均単価(運用系) (単位：千円)



※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。

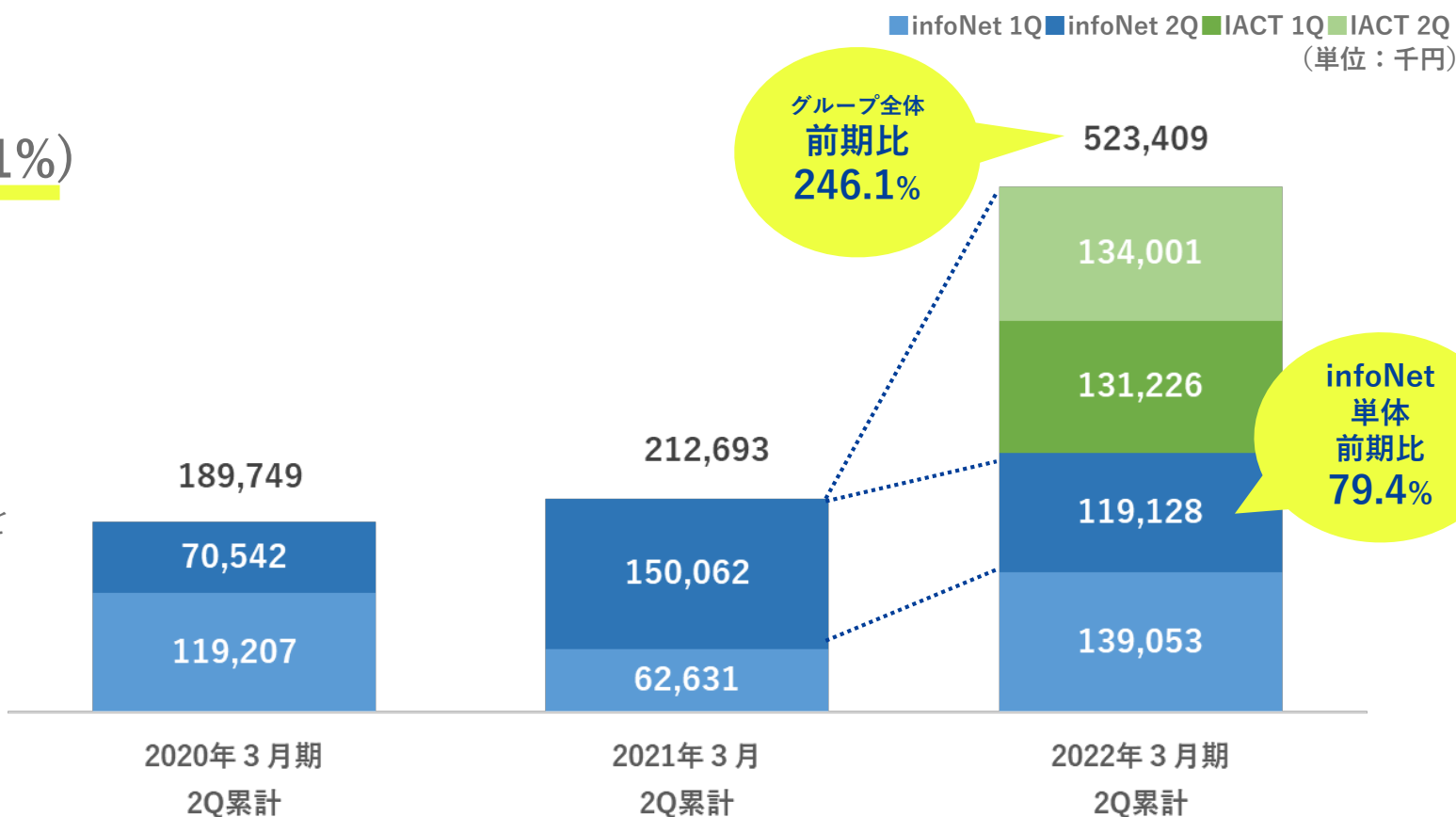
受託開発受注高実績 (QtoQ)

グループ全体

+310,716千円の増加(前期比246.1%)

受託案件の大型化/複雑化傾向に対応するためエンジニアの積極採用、外注パートナーとの契約等により開発体制の強化を図って来たものの、開発人員の枯渇状況が続き受注件数を制限する必要性が生じたためinfoNet単体では前期比79.4%と減少

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。



受託開発納品件数実績 (QtoQ)

グループ全体

+228件の増加(前期比228.8%)

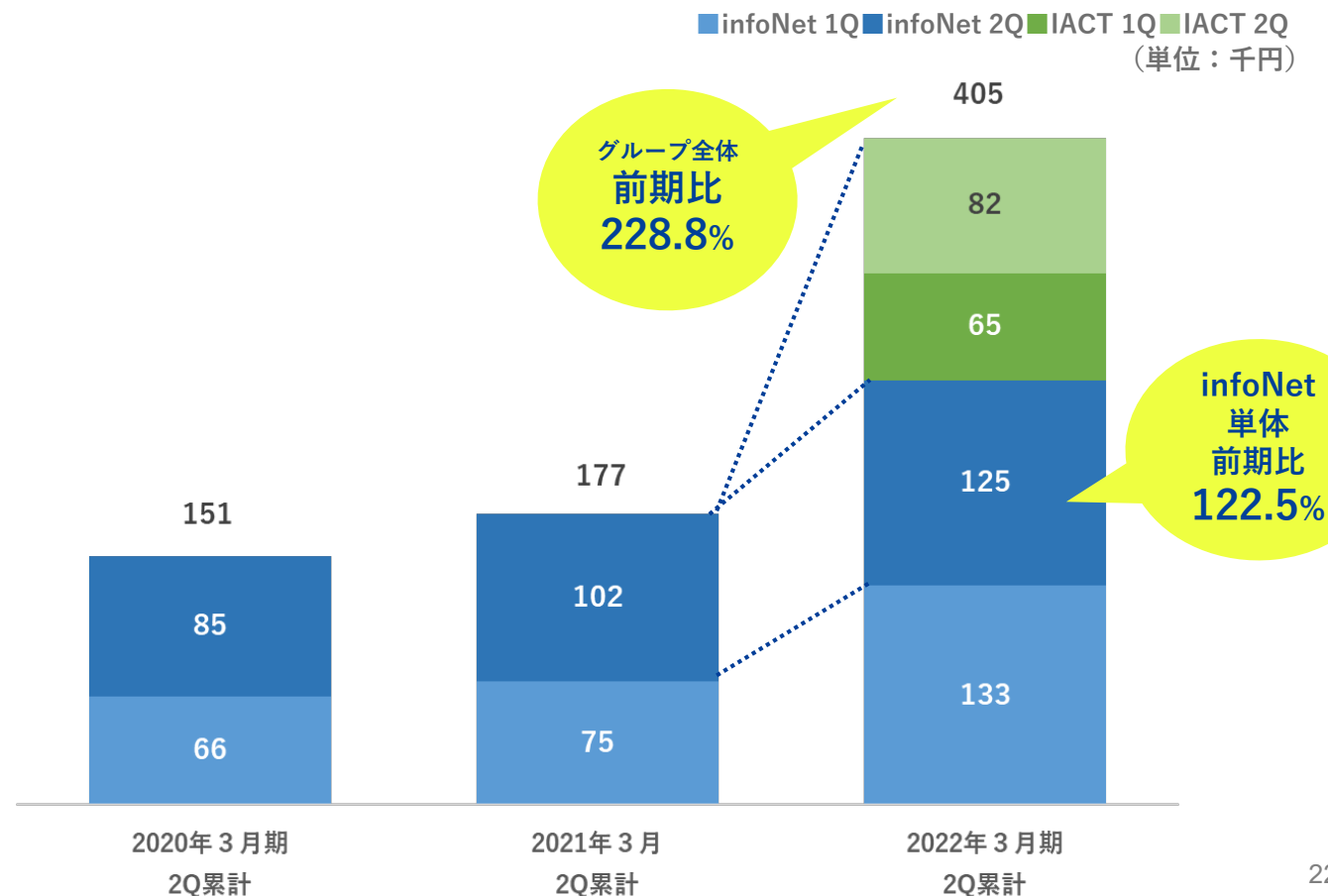
infoNet単体

+23件の増加(前期比122.5%)

収益認識基準の変更に伴い、開発案件の工期や進捗度等に応じ会計計上した仕掛案件数
60件(infoNet 39件/アイアクト21件)

※当社グループは当第1四半期連結会計期間の期首より
会計方針を変更しております。
詳しくは2022年3月期第1四半期決算短信をご参照ください。

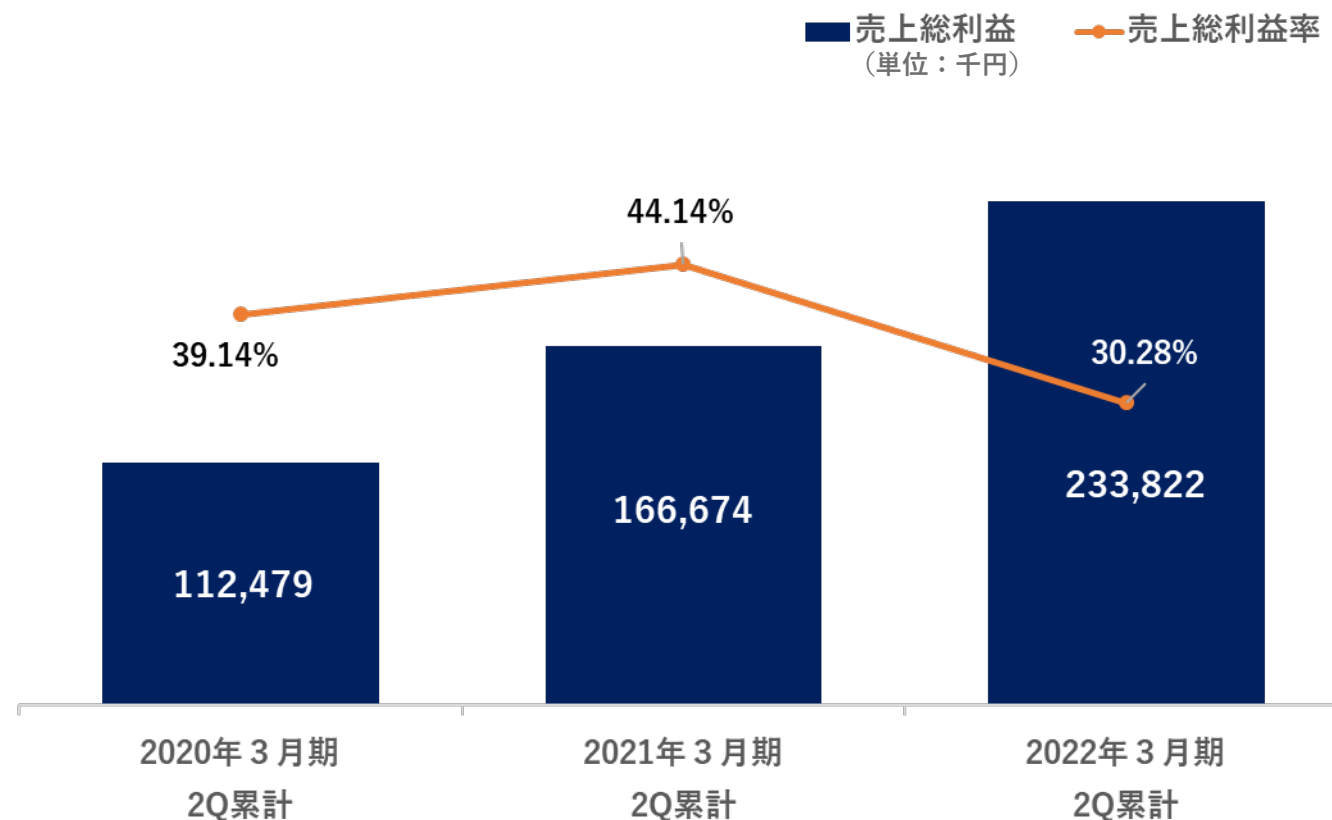
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外で
あるため開示は差し控えていただきます。



売上総利益実績 (QtoQ)

売上高の増加に伴い売上総利益額は
前期に対し67,149千円の増加

一方で開発人員の外注コスト等
製造原価の増加が影響し
売上総利益率は▲13.86%の減少



※2022年3月期はアイアクトの実績を含む連結業績です。

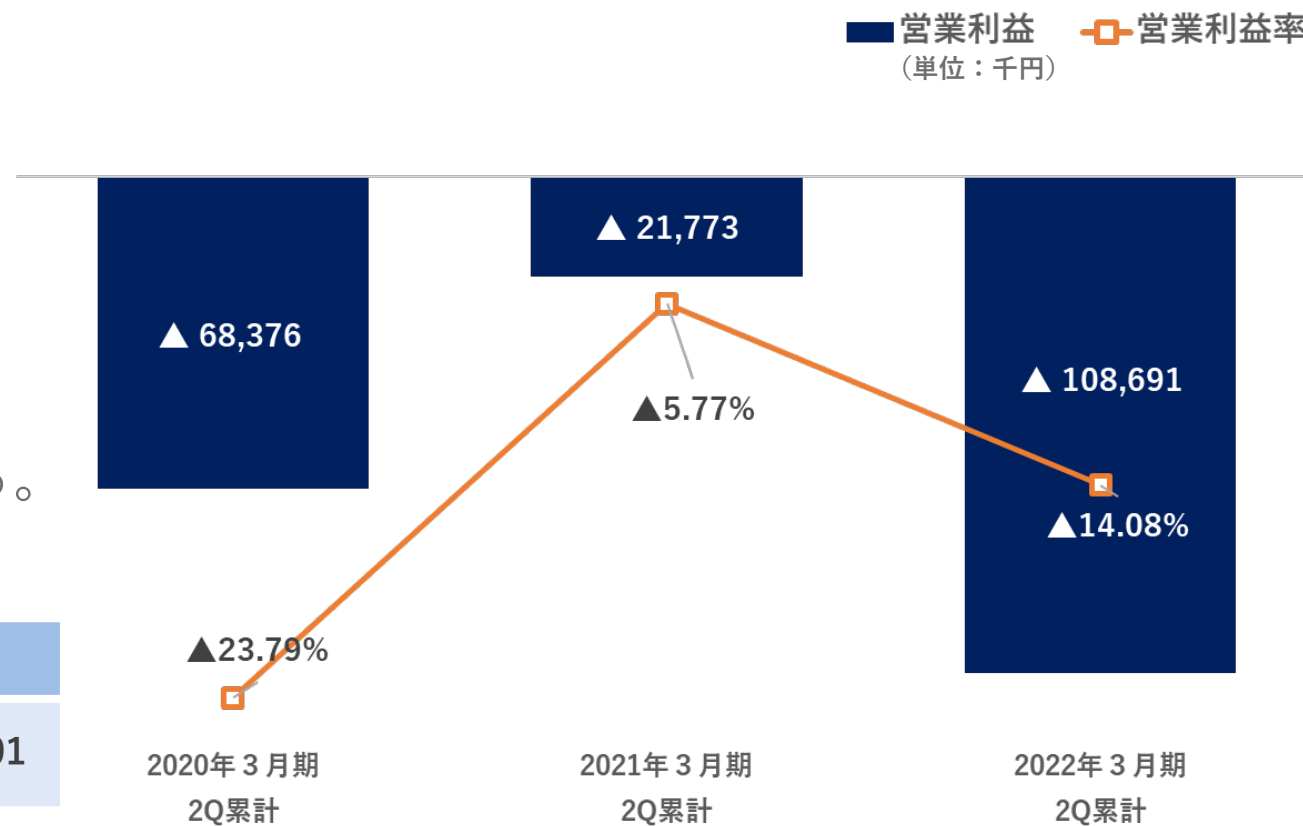
営業損益実績 (QtoQ)

前期に対し、
▲86,918円(▲8.31%) の減少

売上総利益率の減少に加え
アイアクト株式取得に伴う取得費用、
ファイナンス手数料等初年度特有コスト
等が影響し、1Qに引き続き前期を下回る。

	infoNet	IACT	連結コスト	合計
営業 損益	▲113,651	60,209	▲55,250	▲108,691

※2022年3月期はアイアクトの実績を含む連結業績です。



4. SUMMARY

サマリー

4. SUMMARY

BS増減比較

※2022年3月期 2Qはアイアクトの
2021年4月1日～2021年9月30日の
業績を含む連結業績です。

infoNet®

(千円)	①2021年3月期 2Q	②2022年3月期 2Q	増減額 ② - ①
流動資産	1,048,843	1,099,985	51,142
固定資産	151,895	601,055	449,160
資産合計	1,200,739	1,701,041	500,302
流動負債	228,547	486,928	258,381
固定負債	150,921	454,634	303,713
負債合計	379,468	941,563	562,095
資本金	265,476	274,385	8,909
資本剰余金	245,476	254,385	8,909
利益剰余金	310,316	230,707	▲79,609
純資産合計	821,270	759,478	▲61,792
負債・純資産合計	1,200,739	1,701,041	500,302

※合計に誤差が出ておりますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

4. SUMMARY

PL増減比較

※2022年3月期 2Qはアイアクトの
2021年4月1日～2021年9月30日の
業績を含む連結業績です。

infoNet®

(千円)	①2020年3月期 2Q	②2021年3月期 2Q	③2022年3月期 2Q	増減額 ③ - ②
売上高	287,392	377,604	772,159	394,555
WEB/CMS関連事業	278,201	372,192	693,081	320,889
AI関連事業	9,190	5,411	79,077	73,666
売上総利益	112,479	166,674	233,822	67,148
売上総利益率	39.14%	44.14%	30.28%	▲13.86pt
営業損益	▲68,376	▲21,773	▲108,691	▲86,918
営業損益率	▲23.79%	▲5.77%	▲14.08%	▲8.31pt
経常損益	▲75,034	▲19,581	▲125,331	▲105,750
経常損益率	▲26.11%	▲5.19%	▲16.23%	▲11.04pt
当期純損益	▲52,531	▲16,492	▲155,884	▲139,392
当期純損益率	▲18.28%	▲4.37%	▲20.19%	▲15.82pt

※WEB/CMS関連事業売上高とAI関連事業売上高の合計に誤差が出ておりますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

5. 業績予想の修正について

5. 業績予想の修正について

WEB/IT技術を活用したWEBマーケティングの需要の高まりに伴い、受託開発案件において大型かつ大幅なカスタマイズを必要とする複雑な案件の増加傾向が続き、顧客ニーズに対応するため外注パートナーを活用するなどし開発体制の強化を積極的に図って参りました。

しかしながら開発体制の増強により大型案件の低利益、赤字傾向が続いていることに加え、当初見込まれていた開発工数を大幅に上回る案件に対応すべく多くの開発人員を起用する必要が生じたことから、受注件数を制限する必要性が生じ、売上高、利益とも前回公表の予想を下回る見込みとなりました。

この状況を改善するため、受注ターゲットとすべき案件規模/要件の見直しを行い、当社のコアターゲットである小中規模案件を中心とした受注ポートフォリオを整理するとともに、従前の開発体制で安定的な利益を確保する体制への転換を図って参ります。

【連結】2022年3月期通期業績予想

単位：百万円

	当初 業績予想	修正 業績予想	(参考) 前期実績 (2021年3月期)
売上高	1,950	1,601	980
営業 利益	174	▲153	85
経利益	131	▲172	90
当期 純利益	64	▲209	59

【個別】2022年3月期通期業績予想

単位：百万円

	当初 業績予想	修正 業績予想	(参考) 前期実績 (2021年3月期)
売上高	1,250	901	922
経利益	144	▲149	85
当期 純利益	101	▲160	57

赤字受託金額推移

単位：千円

	件数	総受託 金額	赤字金額
2020年 3月期	57	50,421	▲26,912
2021年 3月期	49	40,897	▲59,424
2022年 3月期 (見込含む)	85	135,234	▲114,060

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。

当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的 にも黙示的 にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。